



明海大学  
編集・発行  
企画広報課

## Contents

- 1 学長年頭所感
- 2 ANA総合研究所と連携協力
- 3 ホスピタリティ・ツーリズム学部社長講座
- 4 歯学部 こども大学開校
- 5 就職戦線を乗り切れ! 就職サポート特集
- 6 2013年度公開講座
- 7 明海スポーツ
- 8 浦安・坂戸キャンパス学園祭開催

## 学長年頭所感

# 総力を結集し、教育プログラムの充実を図る

2014年午年の新年を迎えました。明海大学の学生と教職員の皆様、そして同窓会、教育後援会をはじめとして明海大学を支援してくださる多くの皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 大学教育の変革

さて、社会は政治・経済・医療・福祉など、あらゆる面で多くの課題を抱えておりますが、大学教育あるいは大学院教育も大きな変革を求められていることはご存じのとおりです。

中央教育審議会は平成24年8月に答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」を出しました。この答申の中に謳われている主旨には「国民一人一人が主体的な思考力や構想力を育み、想定外の困難に処する判断力の源泉となるよう教養、知識、経験を積むとともに、協調性と創造性を合わせ持つことのできるような大学教育への質的転換」と記載されています。この基本的な資質を考えますと、まさに、本学の建学の精神である「社会性、創造性、合理性」と同一線上にあることがわかります。社会がどのように変化しても、未来からどのよ

うな挑戦を受けても、自らを見失うことなく、大学としての目標に向かって前進していくことが肝要であるということです。

これから大学ポートレート（仮称）も開始されて大学の教育情報は社会に次々と発信されます。私たちは、保護者の期待を受け、そして学生の夢をのせて、船の航海のごとく明海大学を前進させて行かなければなりません。教職員は乗組員としての最大の努力が求められています。

### 更なる学生の自己実現へ

このような状況の中で、歯学部においては、昨年からの歯科界を支えていく優秀な高度専門職としての歯科医師を養成すべく、大学院と生涯研修部の事業の一体化を行い、高度で優れた臨床の知識と技術を兼ね備えたスーパードクターを目指す大学院「高度口腔臨床科学コース」を設置しました。また、生涯研修部では「マスタークリニシャン」の称号を目指すべく、我が国初めての圧倒的な臨床力を養成する「歯科総合医コース」を設置します。卒前教育から卒後の生涯教育への一貫性を保ちつつ世界的視野での展開を図る「生涯教育の明海大学」の名に恥じない教育システムであると思います。併せて、病院実習においてもポートフォリオを中心



安井利一学長

に据えた振り返り型学修を取り入れた新たな教育課程を整えました。もちろん、研究者として優れた研究能力を有する歯科医師等を目指す大学院「口腔生命科学コース」も充実させています。

また、浦安キャンパスの外国語学部（日本語学科、英米語学科、中国語学科）、経済学部、不動産学部、そしてホスピタリティ・ツーリズム学部においては、「明海の人間力」の育成を目指して、人間力形成と専門基礎力の養成、そして夢を実現できる職業選択が可能な高い就職率を目指します。 【2面へ続く】

【1面から続く】

外国語学部においては「グローバル・スタディーズ専攻」を新設し、日本語・英語・中国語の3カ国語の基礎を有するビジネスパーソンの育成に力を注ぎます。経済学部においては「ゼミ」を改革して、より学生に寄り添った指導を目指し、同時に学修の到達度評価としての各種資格取得へのアプローチも充実します。不動産学部においては産官学からなる「浦安コンソーシアム」の基盤を支えながら、地域の発展を教育からも支援していきます。ホスピタリティ・ツーリズム学部においては2年連続の私立大学観光系学部就職率ナンバーワンの実績を踏まえて、更なる学生の自己実現への支援を図ります。

明海大学だからこそできること

教育後援会地区懇談会でも多くの保護者から、学生への愛情を持った対応に高い評価と感謝の言葉を受けることができるのも教職員一人ひとりの努力によるものです。浦安キャンパスでは就職力強化としてキャリアサポートセンターを一新するとともに、正課外の活動としてのボランティア活動やインターンシップ活動、そして本学ならではの海外研修をラーニング・プロセスとして、さらに一人ひとりの学生に愛情を持ち、大切に育てる努力を惜しみません。

さらに、体育会・文化会活動においても、昨年の体育会ヨット部の全日本学生ヨット選手権大会準優勝の快挙を原動力として、優秀な監督・

コーチの下、国内外での活躍を目指します。

また、研究活動においても、社会資源となる有意な研究を教員個々が倫理性を持って推進していきます。医療においては歯学部の附属病院やPDIでの患者満足度の向上を図り、浦安キャンパスにおいても広くボランティア活動等を通じて社会貢献をいたします。

今年も、明海大学は社会から見える、社会から評価される大学づくりを志向し、学生や保護者の満足度の高い、そして先端を行く教育プログラムの充実を図ります。「明海大学だからこそできること」に教職員全員の力を結集するとともに、学生、教職員一人ひとりが素晴らしい年になるよう努力します。

## ANA総合研究所との連携協力に関する合意書を締結

明海大学とANAグループのシンクタンクである株式会社ANA総合研究所は、11月1日、航空運輸産業を含むツーリズム産業で活躍し得る人材の育成に寄与することを目的として、双方の緊密な組織的連携に向けて「基本合意書」を締結した。

今後は、双方の連携のもとに国際的視野に立ったツーリズム、顧客満足、サービスに関する実学知識・スキルの修得を目的とする新たな教育プログラムを共同で開発。その一環として、2014年4月から本学総合教育センター主催の「産学連携教育プログラム」において、ANAグループから講師を派遣することにより、ツーリズム・エアライン等に関する授業を展開し、双方の人材および研究の交流を図り、ツーリズム産業をはじめとする社会に求められる人材育成を目指していく。



ANA総合研究所の長瀬真代表取締役社長（左）と安井利一学長

ホスピタリティ・ツーリズム学部  
**社長講座 帝国ホテル会長らが講演**

ホテルや旅行、エアライン業界などに高い就職実績を誇るホスピタリティ・ツーリズム（以下、HT）学部では、企業が求める人材を育成することを目的に、実践教育に力を入れている。

HT学部の授業科目「特別講義Ⅱ（通称：社長講座）」では、日本のHT業界を代表する企業の経営トップを招き、オムニバス形式で業界の動向や仕事に対する心構えなどを学ぶ。10月は3日に（株）帝国ホテル会長の小林哲也氏（HT学部客員教授）、24日に日本航空（株）執行役員東京空港支店長兼JALスカイ社長の篠原敏夫氏、11月14日に（株）目黒雅叙園代表取締役社長の梶明彦氏を招き、講義が行われた。

帝国ホテルの小林会長は、123年の歴史と伝統や良いホテルのあり方に

ついて紹介した後、帝国ホテルの“おもてなしの心”について説明した。また、学生へのアドバイスとして、「社会に羽ばたく上で、『素直に、明るく、元気よく』という3点だけは心に留めておいてほしい。また、何事においてもまず行動すること。行動することで人と出会い、気づき、気づいたことを受け入れることが自分の成長につながる」と力強く語った。日本を代表するホテルの経営トッ



帝国ホテルの小林会長を囲んで

プの言葉に、学生は真剣な表情で聞き入っていた。

今後は1月16日に全日本空輸（株）取締役執行役員オペレーション部門副統括兼客室センター長の河本宏子氏を招いての講義が行われる。

**不動産学部 住宅新報に学生企画の連載開始**

住宅・不動産業界の専門誌である「住宅新報」（毎週火曜日発行）の9月24日発行号から、不動産学部在学学生による記事「不動産の不思議 明海大学不動産学部 学生たちの視点と発見」の連載がスタートした。この連載は、日本で唯一、不動産について学ぶ明海大生の目を通して、若者が不動産をどう感じているかを発信することを目的としている。毎週異なる学生が記事を掲載し、身近に感じている不動産に関する疑問とそれに対する自分なりの解釈を述べている。

中城康彦不動産学部長は連載開始について、「この連載記事は、実際に街歩きをした後に討論を行い、原稿

にしているの、学生たちの不動産を見る目を養うことにつながる。また、自分の知識で説明できることとできないことを認識し、不足を補う勉強になることに加え、文章表現力を養う効果がある。記名、写真付きでの記事の投稿は学生時代の実績になり、就職にも効果的になるだろう」と語った。また、連載第1回に「建築基準法の接道義務と建築」、第8回に「コモンスペース」という記事を掲載した富山大貴さん（不動産学科4年）は、自身が記事を書いた経験について「今まで不動産学部で学んできた知識を、机上ではなく現地に赴いて活用できるいい機会となった。また、

掲載した記事に対し、不動産業界で働く方々から意見が届くなどさまざまな反響があり、学生の視点を業界の方々に伝えることに大きな意味があると感じた。これからも、この連載を通して学生の不動産に対する考えを多くの人に発信していきたい」と語った。



中城不動産学部長

<http://www.meikai.ac.jp> 各記事は明海大学公式HPをご覧ください。

## 歯学部 「子ども大学にしているま」を開校

8月24日から10月26日までのうち全4日間、城西大学および近隣地域の教育委員会などと協力して「子ども大学にしているま」が開校され、昨年へ続き本学歯学部が参加した。ここでは、9月14日と10月26日に本学坂戸キャンパスで行われた講義の様子を紹介する。

「子ども大学」は埼玉県に所在する大学や市町村、企業・NPO、県が連携して、子ども（原則として小学校高学年）の知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するもの。小学校では教えないような課題を取り上げて大学教授や地域のプロフェッショナルが分かりやすく指導する。

9月14日は「顔のパズル～頭蓋骨（とうがいこつ）の不思議～」「見えない世界を画像（え）にする超音波！」をテーマに、さまざまなパーツから形成されている頭蓋骨の仕組みを学んだり、超音波で首の血管を探し、写真にして観察した。

10月26日には「虫歯の原因徹底解



超音波で首の血管を観察

明]「プラーク絶滅作戦～ほくもわたしも歯医者さん～」をテーマに、虫歯の原因やプラークを除去する正しいブラッシング方法を学んだ後、ブラッシング体験を行った。普段とは違った体験に、楽しみながら笑顔で取り組む様子が見られた。また、講義終了後には修了式が行われ、全4日間

のプログラムを終えた子どもたちの表情は達成感に満ちていた。

参加した子どもたちからは「超音波で血液の流れを見るのが楽しかった」「プラークがたくさんあってびっくりした」などの声が聞かれ、一緒に参加していた保護者にも大好評だった。

## 歯学部交換研修プログラム シエナ大学の研修生が来学

本学歯学部は国際的な歯科医師を育成することを目的として、費用全額大学負担の海外研修制度を設けるとともに、海外の各国姉妹校からも交換研修生を受け入れ、相互交流を積極的に行っている。

10月27日から31日にかけて、イタリアのシエナ大学から研修生2人とインストラクター1人が来学。30日には坂戸キャンパスを訪れ、午前中に本学部の教育・研究に関する特別講義を受講した後、昼には教職員らによる歓迎パーティーに参加し、和

やかに交流する姿が見られた。午後には付属病院などの施設見学やシエナ大学教員による講義が行われるなど、多岐にわたり充実。また、研修期間中は、3月にシエナ大学への海外研修に参加した本学学生らが中心となり世話役を務めるなど、学生間の交流も活発に行われた。

研修生からは「どの診療室もとても広くきれいで。そして、ユニットが

たくさんあることに驚きました。また、各教室では多くの先生方から丁寧な説明していただき、イタリアの歯科医療との違いを学ぶことができました」といった声が聞かれ、実り多い研修となった。



本学の充実した施設を見学する研修生ら

# 就職戦線を乗り切れ！

## 就職サポート特集

### OB・OGから学ぶ 業界・職種研究セミナー

「就職に強い」実学志向の大学を目指す本学浦安キャンパスでは、2013年度から新しいキャリアプログラムをスタートさせ、4年間一貫したキャリア教育を行っている。早い段階から就業意識や職業観を養い、卒業後の進路を見据えたキャリア教育を推進。さまざまなガイダンスやセミナーなども多数開催している。

11月14日には3年生を対象に、ホテル、ブライダル、自動車、不動産業界などで活躍する本学の卒業生を招いた「OB・OGから学ぶ業界・職種研究セミナー」が行われた。15の企業から17人の卒業生が参加し、現在の仕事内容や学生時代に取り組んだこと、就職活動のアドバイスなどが語られた。憧れの企業で活躍している卒業生から直接話を聞ける絶好の機会とあって、メモを取りながら熱心に説明に聞き入る学生や、卒業生に積極的に質問する学生の姿が見られた。

浦安ブライトンホテルの保田祥悟さん（ホスピタリティ・ツーリズム

学科13年卒）はホテルマンに必要な能力として、「コミュニケーション能力はもちろん、体調管理も重要なス



浦安ブライトンホテルの保田祥悟さん

### 女子学生のための就活用ヘア&メイク講座

10月10日と15日の2日間、3年生女子を対象とした「女子学生のための就活用ヘア&メイク講座」が浦安キャンパスで開催された。同講座は、就活にふさわしいメイク方法や髪型

のアレンジを学び、就活で好印象を与えることを目的に行われた。就職活動では、第一印象が重要とされ、見た目の印象の重要性を考える多くの学生が参加した。



講師の話に聞き入る女子学生たち

キルのひとつ」と語った。

参加した学生からは、「卒業生から直接話を聞くことで、リアルな職場の雰囲気を知ることができた」「仕事内容について理解が深まり、改めてサービス業界で働きたい気持ちが強くなった」といった声が聞かれるなど、業界への理解を深め、将来のキャリアイメージを描く貴重な機会となった。

講師を務めたフォトタカノスタジオのヘアメイク担当である芝直樹氏は、好感を与えるメイク法として、スキンケアなどの基礎的な化粧法や、化粧品の色の選び方などについてデモンストレーションを交えながら詳しく説明。その上で芝氏は「化粧品の色が変わることによって、相手に与える印象が変わります。より明るく好印象を与えられるメイク法を身につけ、これから始まる就活を乗り切ってください」とアドバイスを送った。

参加した学生は、それぞれ手鏡を取り出し、講師がモデルに施すメイクと自分が普段しているカジュアルメイクとの違いを確認しながら、真剣な表情で聞き入っていた。

## 2013年度 公開講座 通訳と翻訳の世界 浦安キャンパス

10月19日、浦安キャンパスで2013年度公開講座「通訳と翻訳の世界」が開催され、500人収容の大講義室を埋めつくすほどの受講者が詰めかけた。講師として招かれた、同時通訳の草分けとして活躍している鳥飼玖美子氏（立教大学特任教授）からは「通訳者の役割 —透明な存在か、文化の仲介か」、ハリー・ポッターシリーズの翻訳を務めた松岡ハリス佑子氏（株式会社静山社会長）からは「言葉の魔法 —ハリー・ポッターの翻訳者として」と題した講演が行われた。

鳥飼氏は講演の中で、たった一単語の意識が国際問題にまで発展しか

けた「不沈空母発言」といった過去の事例や自身の経験に触れながら、通訳という仕事に対する姿勢や考え方を解説した。続いて松岡氏は、ハリー・ポッターシリーズを翻訳した際の苦労話や逸話を、ユーモアを交えながらわかりやすく語った。当事者ならではのエピソードに受講者は興味津々の様子で耳を傾けていた。

その後、両氏に加え、本学外国語学部英米語学科の山岸勝榮教授と小林裕子准教授を交えて、石黒武人講師の進行のもと、通訳・翻訳の在り方や理論と実践について、それぞれの観点か

らパネルディスカッションが行われ、受講者にも質問を投げかけるなど活発な議論が展開された。受講者からは「興味深い講座内容で有意義な時間を過ごすことができました」「大変さとやりがいの両方を具体的にお話しいただけたことで理解しやすかったです」などの感想が寄せられ、2013年度公開講座は大好評のうちに終了した。



大盛況となった公開講座

## 2013年度 歯学部公開講座

### 「健康」と「口腔」の関係に高い関心集まる

10月5日、坂戸キャンパスで2013年度歯学部公開講座が行われ、「健康寿命を延ばす口腔の健康の重要性～全身の健康と口腔の密接な関係とは～」をテーマに独立行政法人国立長寿医療研究センター口腔疾患研究部部長の松下健二氏が講演し、市民ら約120人が熱心に耳を傾けた。

安井利一学長および渡部茂歯学部公開講座運営委員長のあいさつの後、松下氏は、「健康寿命の延伸にはバランスの良い食事をとることや適度な運動など、生活習慣を改善することが重要」と話した。また、歯の数の多さは歯周病や糖尿病、認知機能と相互関係にあることを述べ、「歯を

多く残すことや口腔ケアによって口の中をきれいにすることで、口腔の病気を防ぐだけでなく、全身の健康や長寿にもつながる」と説明した。

身近なテーマであったことや講演者の分かりやすい解説に来場者からは高い関心が集まり、「口腔ケアの大切さが理解できた」「健康は歯が基本であるとあらためて感じた」といった声が聞かれ、大好評のうちに終了した。

## 入試日程

詳細は必ず入学試験要項をご確認ください。資料請求は本学公式HPから。

<http://www.meikai.ac.jp>

### 浦安キャンパス 外国語(日本語・英米語・中国語学科)/経済/不動産/ホスピタリティ・ツーリズム学部

入試区分	出願期間	試験日
一般入学試験(A方式)	1/9(木)～1/23(木)	2/1(土)、2/2(日)、2/3(月) 試験日自由選択制 2/1、2/2は仙台、郡山、新潟、長野、静岡、福岡の各会場でも実施
大学入試センター試験利用入学試験(A方式)	1/9(木)～1/28(火)	1/18(土)、1/19(日) 大学入試センター試験

■お問い合わせ 浦安キャンパス入試事務室 TEL 047-355-5116

### 坂戸キャンパス 歯学部

入試区分	出願期間	試験日
一般入学試験(A日程)	1/8(水)～1/20(月)	1/30(木)
大学入試センター試験利用入学試験(A日程)	1/8(水)～1/20(月)	1/18(土)、1/19(日) 大学入試センター試験 1/30(木) 面接試験

■お問い合わせ 歯学部入試事務室 TEL 049-279-2852

# 明海スポーツ

MEIKAI  
SPORTS

## 体育会ヨット部が快挙

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

### 体育会ヨット部

## 全日本総合 準優勝を達成

8月末に開催された平成25年度関東学生女子ヨット秋季選手権大会で総合優勝を達成し、ついに強豪大学と肩を並べた体育会ヨット部。その快進撃はとどまるところを知らず、10月31日から11月4日にかけて開催された第78回全日本学生ヨット選手権大会では総合準優勝を達成した。

大学ヨット界の頂点を決める第78回全日本学生ヨット選手権大会が、10月31日から11月4日にかけて兵庫県西宮市の新西宮ヨットハーバーで開催され、体育会ヨット部が470級4位、スナイプ級優勝により総合準優勝という快挙を成し遂げた。スナイプ級では、川戸志織選手(経済学科4年)・花田昂選手(経済学科4年)ペアが1位を獲得するなど、並居る強豪大学を抜き去り、昨年の総合11位から大幅に順位を上げた。

國府田由隆監督は「常日頃から選手たちには、言われたことだけを実行するのではなく、どうしたらより上手になるのか自分で考えながら練習に励むように伝えてきました。今回の準優勝は選手たちの考え方や練習法が間違っていなかったことの証明でもあります。もちろん、これで満足することなく、次からは明海大学体育会ヨット部を警戒する相手が増える中で、総合優勝を狙うつもりです」と語った。また、伊東雄基主将(経済学科4年)は「4年間の集大成として準優勝という結果を残せたことはよかったです。普段の練習はもちろん大切ですが、選手だけでもミーティングを頻繁に行い、団結力を高める



躍進を続ける体育会ヨット部

よう意識したことが結果につながったと思います」と語ると同時に、後輩

たちには優勝を成し遂げてほしいとエールを送った。

### 陸上競技部

## 高橋さん スポーツ東京祭優勝、 アジア大会2位を達成

浦安キャンパス陸上競技部の高橋佳奈江選手(英米語学科1年)が、10月13日、14日に味の素スタジアムで行われたスポーツ東京祭2013・第13回全国障害者スポーツ大会に出場し、100m、200m走(障害区分25クラス)ともに優勝を達成した。また、同月26日から30日にはマレーシアで第3回アジアユースパラ競技大会が開催され、高橋選手は日本代表として出場。100mでは2位、200mでは3位に入り、世界の舞台でも対等に戦える実力があることを示した。

高橋選手は今後の抱負について「陸上競技部の川幡俊行監督をはじめ、コーチや選手のみんなにも支えてもらっているの、しっかりと結果を出して応えたいです。最終的には2016年のリオデジャネイロパラリ

ンピック、そして2020年の東京パラリンピック出場が目標です」と語った。国内大会で優勝してなお向上心を燃やす高橋選手の今後の活躍に期待したい。



日本代表のジャージに袖を通す高橋選手

## 浦安キャンパス第26回明海祭

11月2日から4日の3日間にわたり、『SPARK』をテーマに第26回明海祭が開催された。はじけるような元気・笑顔届けたい、そして活気ある学園祭を創り上げたいという想いを形にした3日間となった。

明海祭では、人気アーティスト入レオさんのコンサート、タレントのユージさんによるトークショー、人気お笑い芸人のライブなどさまざまなイベントが開催された。毎年人気を集めているフリーマーケットや地域の子供たちが多く参加する「クリスマスリース作り」「オリエンテーリング」など、子供たちから高齢者まで幅広い年代の方が楽しむ姿が見受けられた。また、メインステージ

ではジャズオーケストラ部やダンスサークルなどの本学学生による発表に加え、地域の方々が行う太極拳同好会やメイカイクラブのパフォーマンスもあり、会場を大いに沸かせた。学園祭実行委員長の外崎あかりさ

ん(英米語学科3年)は、「今年も無事皆様と学園祭を盛り上げることができました。突然の雨にもスタッフ一同が素早く対応し、来場者の皆さんのハジけるような笑顔を見ることができました。今年のテーマである『SPARK』に込められた思いを皆様にお届けできたのではと思います」と語った。



見事な演奏を披露したジャズオーケストラ部

### 歯学部 第43回「けやき祭」

## 地域とのつながりを深める

10月11日から13日にかけて、歯学部学生にとって最大のイベントである坂戸キャンパス学園祭「けやき祭」が開催された。本学創立とともに歩み、今年で43回目を迎えた「けやき祭」は、テーマを「歯を守り、地域と繋ぐ、けやき祭～私たちが口腔を通じて健康を守れるように～」と掲げ、連日、多彩なイベントが催され、多くの来場者でにぎわった。

さまざまな模擬店やバスケットボール大会、軽音楽部やダンス部の発表などが行われ、毎年好評の「骨密度測定」には多くの地域住民が参加し、学生との交流を楽しむ姿が見られた。

また、12日、13日にはオープンキャンパスが同時開催され、入試相談やキャンパスツアーを終えた後、けやき祭を楽しむ参加者の姿が見られた。

最終日の後夜祭では、部活対抗戦「美食コンテスト」、ビンゴ大会などを開催。最後には人気お笑い芸人「Hi-5」や「ラブレターズ」が出演し、会場は大いに盛り上がった。

けやき祭実行委員長の小橋竹暢さん(歯学科4年)は、「今年は地域医療の考えをテーマに盛り込み、人とのつながりを持てる学園祭にしたいという気持ちを込めて開催しました。けや

き祭を通じて、学生同士が部活や学年の壁を越えてまとまりを持たただけでなく、地域の方との交流を深めることができました」と語った。



クリニカルリサーチ部による骨密度測定の様子